

### ミラノを代表するコスプレイヤーたち

■彼女は「コスプレの趣味を通して恋人と付き合うようになりました」と語った。



### 世界コスプレサミットの伊代表経験者

■他国のライバル(?)コスプレイヤーたちの分析にもつねに余念がない。



### ハローキティ命のピンク系コスプレイヤー

■アニメはご両親ともよく観るそうで、まさに日本のアニメで育っている世代だ。



追っかけ日記

隔週連載 第6回

# ユー・ルック・ソー・カワイイ!!

# Kawaii

# 文化

文 櫻井孝昌  
イラストでイS Factory

**コスプレイヤーとカワイイの関係とは**

09年5月、舞台を南フランスからミラノへと移しての「カワイイ文化」レポート。今回の舞台はイタリアを代表するファッションの街、ミラノだ。

ミラノでのテーマは「コスプレイヤーに聞く、カワイイ」。海外の日本関連イベントを歩いていると、じつにオシャレなコスプレイヤーたちに出会う。そんな彼女たちがどれだけ「カワイイ」を意識しているのか、興味津々である。

日本のアニメやマンガを扱う『YAMATO SHOP』(http://www.yamatovideo.com/)のイベントスペースに、ミラノを代表するコスプレイヤーの女子たちを集めてもらった。

ミラノでは、月に2〜3回はコスプレイベントがあるらしく、彼女たちはそこで楽しんでいる

という。集まってくれた女子たちは20代で、それぞれ自分のコスプレ姿をアップしたサイトを保持していた。

「コスプレを始めたきっかけは、アニメ・マンガのキャラクターに少しでも近づきたいということ。いまでは、それがこうじて生活の一部になっています」

「『美少女戦士セーラー・ムーン』がコスプレのきっかけでした」「マンガを買うのとコスプレにお金がかかると大変です(笑)」

そんな彼女たちに、「カワイイって言葉を知ってる?」と訊ねてみると「もちろん!」と、じつに嬉しそうに答えてくれた。この質問を投げかけたときの表情、じつは世界共通だ。

彼女たちは、自分にとって大切な言葉を訊ねてくれたことに対して、感動しているのだろう。「カワイイ」という言葉が世界語になっていることを、ひしひしと感じる瞬間でもある。

櫻井孝昌: コンテンツメディアプロデューサー。世界における日本のポップカルチャーに関する研究を進め、外務省のアドバイザーも務める。世界12カ国18都市でアニメ文化外交講演を実施。ちくま新書より『アニメ文化外交』が発売中。



## Kawaii Column

### 「かわいい〜♡」の入れ墨を発見

ミラノで若者が集まってくるナヴィリオ運河に足を運んでみたら、視線にピンク色が入ってきた。'カワイイ文化'を追いかけ始めて以来、ピンク色につい反応してしまう。

橋を渡ると、そこはキティグッズの専門ショップだった。欧州でのハローキティ人気を知識としては知っていても、こうして目の当たりにするとやはりビックリするし、それが日本を代表するキャラクターだという事実は、感動を覚える。世界のキャラクタービジネス広しと言えども、特定のキャラクターだけで営業が成り立つことはそうそうないであろう。

そのショップで、腕に「かわいい〜♡」の入れ墨を彫っている店員を見つけた。彼女に橋の上で写真を撮らせてもらいながら、なぜ「かわいい」なのかを聞いてみた。

「世界は争いに満ちているけれど、少女の目線から見れば状況は違ってくると思う。'かわいい'は私の生き方のポリシーです」

彼女にとって「カワイイ」は、彼女の生き方の証なのである。それが日本語で刻まれていることがすごいと思った。



◆◆ カワイイに真剣に生きる人々と話していると、ある共通項を感じる事が多い。とてもよい意味でストイックだということだ。

### バッグの中もカワイイだらけ

ミラノのコスプレイヤーたちは、カバンの中もカワイイ関連グッズでいっぱい。さっそく見せてもらった。

するとケータイもデコされているし、キティはここでも必須アイテムだ。10個以上キティグッズを入れている女子もいた。ただそんな彼女たちでもケータイが日本製でないところに、現在の世界における携帯電話のシェアを感じる。

ミラノで実際に街を歩き、カワイイに生きる女子たちと出会い、彼女たちと話すなかで、「世界はこんなに日本が好きだ」を当の日本人がいちばん知らないのだなあという想いを新たに。アニメ・マンガだけでなく日本の強さだ。



◆◆ 今回の旅でとにかく感じたのが「キティ」の浸透ぶり。世界のカワイイを象徴するグッズだと言えるだろう。

### 「カワイイ」ポーズは、もはや世界共通!



◆◆ 写真に撮られるときの「キメ」ポーズは、もはや万国共通。コスプレとカワイイは、彼女たちの人生に欠かせないものになっている。



### アニメはファッションにも影響

◆ 「『エウレカセブン』のファッションが好き」などアニメのファッション論も語った。



### 東京に恋している女子が夢見ること

「TOKYOに恋してる」

そんなコスプレイヤーたちはもちろんコスプレも好きだけど、日本のファッション、とくにカワイイ系が最高なのだそう。

ミラノではそう発言する女子もいた。東京にまだ行ったことがない女子が、行ったことがある女子に話を聞くとときのうらやましそうな表情と言ったら……ともあれ行ったこともある子もいない子も、東京が「聖地」であることに変わりはないのだ。

東京未経験の女子に行きたい場所を聞いてみた。原宿、新宿、コミケ……拳が打ってくる観光地も世界共通。彼女たちはいつの

日か、ラフォーレ原宿や新宿マルイワンで買い物し、コミケに行くことを夢見ているわけだ。

そして、日本をこんなふうの評してくれた女子がいた。

「日本は伝統と現代性をミックスさせているところがすごい。日本の文化のすべてが好きです。歴史も含めて」

彼女たちは、日本という国自体を好きでいてくれるのだ。

取材終了後には、普段着の彼女たちも撮影させてもらった。「カワイイ」が彼女たちに大事なことが一目瞭然である。

どこからどう見てもイタリア美人の彼女たち。その価値基準が「カワイイ」になっているというところに、カワイイ文化のパワーを改めて感じる。